

## 営繕関係事業

平成20年度は、「安全」「環境」「活力・地域・暮らし」「既存ストックの有効活用」を官庁施設整備における重点施策の柱と位置づけ、以下の事業を推進します。

### 営繕関係事業のポイント

#### I. 災害に強い中部を目指します。「安全」

##### ●東海・東南海・南海地震等対策強化の推進

・「東海地震、東南海・南海地震」などの大規模地震に備え、官庁施設の防災拠点としての総合的な防災機能を確保した**防災拠点施設の整備**や**既存官庁施設の耐震改修**を推進します。

##### ◆名古屋港湾合同庁舎（本館）（別館）【国】

名古屋港湾合同庁舎別館を、防災官署である第四管区海上保安本部および名古屋海上保安部をまとめた「**防災拠点施設**」として整備（特定国有財産整備制度による整備）します。また、本館についても、耐震（免震）改修を推進します。



本館耐震(免震)改修イメージ図



別館外観イメージ図

#### II. 自然と共生する中部を目指します。「環境」

##### ●地球温暖化対策

・新たに整備する官庁施設について、京都議定書目標達成計画に基づき、総合的な環境負荷低減技術を活用した**グリーン庁舎の整備**を推進します。

・既存官庁施設についても、太陽光発電、照明の昼光制御、送風量可変制御、屋上緑化など、環境負荷低減技術を付加する事により、CO<sub>2</sub>排出量の削減など**環境に与える影響を軽減するための改修（グリーン改修）**を推進します。

##### ◆浜松地方合同庁舎（グリーン庁舎整備）【国】

##### ◆名古屋港湾合同庁舎（別館）（グリーン庁舎整備）【国】

##### ◆多治見税務署（グリーン庁舎整備）【国】

#### III. 交流が活発で愛着の持てる中部を目指します。「活力・地域・暮らし」

##### ●各拠点都市の魅力向上

・地方自治体の都市整備事業や民間の施設整備と連携し、魅力とにぎわいのある都市の拠点となる**シビックコア地区の形成**に資するため、**中核施設となる官庁施設の整備**を推進します。

◆浜松地方合同庁舎【国】

「浜松市シビックコア地区」（平成10年承認）において、国の中核施設となる浜松地方合同庁舎が完成します。

◆多治見税務署【国】

「多治見駅北土地地区画整理事業」（平成12年事業計画決定）施行地区内において、多治見税務署の整備に着手します。

●各拠点都市の魅力向上（官庁施設におけるユニバーサルデザイン）

- ・新たに整備する官庁施設では、高齢者、障害者はもとよりすべての人が円滑に施設を利用できるように、出入り口扉や誘導ブロック、多目的便所、サイン計画などについてユニバーサルデザインの考え方を取り入れた整備を推進します。
- ・窓口業務を行う官署が入居する既存官庁施設では、バリアフリー化を推進します。

◆浜松地方合同庁舎（高度なバリアフリー化庁舎）【国】

◆名古屋港湾合同庁舎（別館）（高度なバリアフリー化庁舎）【国】

◆多治見税務署（高度なバリアフリー化庁舎）【国】

■「既存ストックの有効活用」

- ・急激な老朽化が見込まれる既存官庁施設について、必要な改修工事を実施し長寿命化やストックの有効活用を推進します。

新規事業箇所(直轄)

多治見税務署

1. 事業箇所等

- ・岐阜県多治見市（多治見駅北土地地区画整理事業施行地区内）

2. 事業概要

基盤整備事業である「多治見駅北土地地区画整理事業」と連携し、新たな地域の街づくりとの調和を図りつつ、総合的な環境負荷低減技術を活用したグリーン庁舎及びユニバーサルデザインの考え方を取り入れた整備を図る。

- ・敷地面積：2,400㎡
- ・構造・規模：庁舎 鉄筋コンクリート造 地上5階 延床面積 約2,700㎡  
車庫 鉄筋コンクリート造 地上1階 延床面積 約270㎡
- ・事業期間：平成20年度～平成21年度

3. 全体事業費

- ・約8億円

4. 整備効果

土地地区画整理事業の進捗に大きく寄与するとともに、建物の老朽・狭隘化が解消され、行政サービスの向上並びに土地の合理的かつ健全な高度利用が図られる。